

# I 総務報告

## 1. 第43回 評議員会・理事会

- 日 時：平成20年6月27日（金）10時00分～12時10分  
会 場：九段会館 「瑠璃の間」  
議 案：平成19年度事業報告承認の件  
：平成19年度決算承認の件  
：役員選任の件（評議員会）  
：寄付行為第21条第2項に規定する「費用の弁償」に関する件（理事会）  
そ の 他：エイズ予防財団の英文名の改定について  
：水道橋三崎町クリニックの経営状況について

## 2. 第44回 評議員会・理事会

- 日 時：平成21年3月13日（金）10時45分～14時10分  
会 場：九段会館 「翡翠の間」  
議 案：大阪検査センター事業特別会計の設置及びそれに伴う平成20年度一般会計収支補正予算案承認の件※  
：平成21年度事業計画承認の件※  
：平成21年度収支予算案承認の件※  
：新公益法人への移行について  
：評議員選任の件（理事会）  
：事務局の組織及び運営規程の一部改正案承認の件（理事会）  
：職務権限規程の一部改正案承認の件（理事会）  
：給与規程支給細則の一部改正案承認の件（理事会）  
：公印規程の一部改正案承認の件（理事会）  
そ の 他：RED RIBBON LIVEに関する報告  
：事務局の組織及び役職の英語名称について

※上記第44回評議員会・理事会の議案のうち、「大阪検査センター事業特別会計の設置及びそれに伴う平成20年度一般会計収支補正予算案承認の件」については不承認。

「平成21年度事業計画承認の件」ならびに「平成21年度収支予算案承認の件」については平成21年4月13日開催の第45回評議員会・理事会で承認を得た。

## II 事業報告

### 1. 一般会計

#### (1) 国際会議事業

平成20年8月3日（日）～8日（金）にメキシコ市で開催された第17回国際エイズ会議に参加し、エイズ予防対策についての情報提供を行うとともに、HIV／エイズの最新の知見及び各地域の現状を情報収集した。

#### (2) 大阪HIV検査センター支援事業

ブリストル・マイヤーズ株式会社からの寄付金及び米国ブリストル・マイヤーズ・スクイブ基金からの助成金を受けて、大阪検査相談・啓発・支援センター（大阪市浪速区難波1-6-8 イチエイ総合ビル3階chot CASTなんば）施設を借受け、この施設において大阪府・大阪市がNGO等に委託して、HIV検査・相談等の事業を実施。

検査日：週4回（日曜、火曜、金曜、土曜）

4・5月は日曜のみ、6月から週4回に

平成20年度検査日数：162日

HIV検査受検者数（+）：6,200人（46人）

#### (3) ティーンエイジャー支援事業

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の寄付を受けて、高校生・中学生を中心とするティーンエイジャーを対象としたHIV／エイズ予防啓発を目的とし、①ティーンエイジャー自身が参画する活動、②ティーンエイジャーを対象にした活動に継続して参加する指導者の育成活動への資金助成を実施。平成20年度は、選考委員会を開催し助成団体を決定、その後、団体間のネットワーク作りやモニタリング委員会の組織の立ち上げと各団体へのモニタリング評価を行った。

##### 平成20年度助成対象一覧

団体名	プロジェクト名	助成金額
IWATE：生と性及びエイズ教育を考える会（通称：LSA）	ティーンエイジャーと教師がともに進める「生と性・AIDS教育」	999,991円
アデオジャパン	学校を中心としたHIV感染予防プロジェクト	1,000,000円
神奈川県立高等学校性・エイズ教育実践研究会	第15回高校生エイズフォーラム	854,018円

#### (4) その他

##### ① 講師の派遣

行政機関、団体、学校等へ講師（職員）を派遣してエイズの知識の啓発普及等を実施した。（東京都、神奈川県、国際協力機構、石川県立中央病院、熊本医療センター、長崎大学熱帯医学研究所、大東文化大学、東京都立練馬高等学校、東京都南新宿検査・相談室）

##### ② 財団監修・後援名義使用

監修名義：出版物（小冊子、リーフレット等）に付与

後援名義：自治体・企業・団体等が主催する講演会、チャリティーイベント等に付与

#### 2. 日本エイズストップ基金特別会計

日本エイズストップ基金は、エイズ対策に関する募金活動、チャリティ事業及び個人の寄付等の金銭的支援の受け皿として、平成5年4月に財団法人エイズ予防財団内に設置されました。寄付金を、エイズ関連のボランティア団体に助成し、事業の経費への支援を行っています。助成先及び助成額については、日本エイズストップ基金運営委員会で決定しています。

##### (1) 第16回日本エイズストップ基金運営委員会

日時：平成20年6月30日（月）

場所：財団法人エイズ予防財団会議室

会議内容：日本エイズストップ基金の状況報告

：基金配分について

運営委員会委員：山本直樹・栗山昌子・小坂善治郎・田中好子・中村 博

##### (2) 助成事業・助成先（計12件 4,000,000円）

青少年、同性愛者あるいは在日外国人を対象としたエイズ予防啓発事業

1	動くゲイとレズビアンのか（アカー）	400,000円
2	HIV人権ネットワーク沖縄	800,000円
3	国際医学生連盟日本	400,000円
4	wAds2008実行委員会	700,000円

エイズ患者・HIV感染者に対する電話相談事業

1	AIDSネットワーク横浜	200,000円
2	せかんどかみんぐあうと	200,000円
3	ポラリスプロジェクト	200,000円
4	ライフエイズプロジェクト (LAP)	200,000円
5	りょうちゃんず	200,000円

エイズ予防等に関する啓発普及事業

1	現代美術研究会	200,000円
2	魅惑的倶楽部	300,000円
3	RED RIBBON SNOW BOARD CHALLENGE実行委員会	200,000円

(3) 普及啓発及びチャリティイベント事業

- ・「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2008」でエイズ予防啓発

国営ひたち海浜公園（茨城県ひたちなか市）で高校生ロックバンド選手権、「TEENS ROCK IN HITACHINAKA 2008」の本選大会が、平成20年4月27日（日）開催された。約1万人の高校生等の青少年が来場した会場では、主催者（ひたちなか青年会議所など）の協力で多くの若者にエイズ予防啓発のリーフレットなどが配布された。

- ・モータースポーツのSUPER GT選手権でエイズ予防啓発と募金活動

平成20年6月～11月のSUPER GT選手権にオカモト(株)が協賛、5戦の大会にオカモト(株)はブースを設置し、エイズ予防啓発と募金活動を実施した(826,355円)。

- ・アセット婦人画報社がメンズクラブで春と秋にエイズチャリティの特集号

チャリティオークションとエイズ予防啓発の特集ページを掲載。チャリティ金が寄付される(5,124,256円)。

- ・ワーナーミュージックジャパンが「AIDS チャリティ Project RED RIBBON Spiritual Song～生まれ来る子供たちのために～」を限定発売（平成19年11月28日から平成20年5月31日まで）

このCDはエイズ予防啓発にも貢献、ワーナーミュージックジャパンより2,433,391円が寄付される（平成20年10月20日）。

- ・ミュージカル「RENT」の東京公演（平成20年11月～12月）でのエイズ予防啓発

東宝(株)演劇部が基金に協力、平成21年1月30日(金)、1,069,573円寄付される。

・エイズチャリティ美術展(平成21年1月、ハートアートコミュニケーションズ)でエイズ予防啓発と募金活動(589,360円)

・アリコジャパンと全国代理店会連合会が全社を挙げて基金を支援

平成20年度も年間をとおしてエイズ予防啓発パンフレットを個人(家庭)や法人に配布するなどエイズ予防啓発と寄付活動を展開(寄付額は25,759,216円)。

・地域イベント等の普及啓発と募金活動

地域で行われている祭りや催事等にブースを設置し、パンフレット等の配布を行い、合わせて募金活動も実施。

「物江民夫リサイタル」(東京都豊島区東京芸術劇場中ホール8月)、「水戸神輿祭り」(茨城県水戸市8月)、「STOP AIDS!ロシュ・サンスターチャリティ古本市」(東京都港区10月)、「LOVE TO LIVE チャリティコンサート(オカモト株等協賛)」(東京都港区ステラボール11月)、「8thアール・エスポワールチャリティ美術展」(東京都世田谷区世田谷美術館12月)、「浜松オートレース場」(静岡県浜松市11~12月)、「第90回籐信会展示会」(東京都大田区東京流通センター 平成21年2月)、「ゴールドンチャイルドBOXING Vol.91(金子ボクシングジム協力)」(東京都文京区後樂園ホール 平成21年3月)他

### 3. 水道橋三崎町クリニック特別会計

平成19年2月1日(木)に開設した水道橋三崎町クリニックにおいて、夜間や休日に診療を行うとともに、H I V検査受検促進を目的とし、H I V・B型肝炎・梅毒の迅速検査を実施した。

診療日時：火曜・木曜 17：00~20：00

土曜 9：00~13：00

診療受付：24時間電話予約サービスによる完全予約制

処方：近隣の自立支援医療指定薬局(院外処方)

その他：自立支援医療指定機関・生活保護法指定機関

来院者数：759名(受検者数は519名)

#### 4. エイズ予防対策事業（厚生労働省委託費）

##### (1) 血液凝固異常症実態調査事業

血液製剤を通じてHIVに感染した血友病患者を中心に、血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、血液凝固異常症患者を治療している全国の医療機関に調査を実施した。

平成20年6月23日（月） 1,504担当医等（1,369施設）へ調査票を送付。789担当医等（675施設）から回答を得た。

調査結果（報告書）は、各医療機関の担当医・患者等に提供し、フィードバックすることにより患者の治療とQOLの向上を図っている。

血液凝固異常症全国調査第1回運営委員会

日時：平成20年5月21日（水）15時00分～17時00分

場所：水道橋ビル会議室

議事：平成20年度の調査方法について

血液凝固異常症全国調査第2回運営委員会

日時：平成21年3月4日（水）15時00分～17時00分

場所：水道橋ビル会議室

議事：調査票の回収状況、報告書について

##### (2) HIV感染者等保健福祉相談事業

###### ① エイズ治療中核拠点病院相談事業

エイズ治療中核拠点病院（平成18年度に創設）に相談員を配置して保健福祉相談を実施し感染者・患者等の心理的援助を行なった。

医療機関名（19機関）

岩手医科大学病院、大館総合病院、群馬大学病院、都立駒込病院、東京慈恵医大病院、横浜市立病院、新潟大学病院、三重医科大学病院、岐阜医科大学病院、福井医科大学病院、市立堺病院、兵庫医科大学病院、京都大学病院、奈良医科大学病院、滋賀医科大学病院、長崎大学病院、熊本大学病院、鹿児島大学病院、琉球大学病院

相談員の連絡協議会の開催

平成21年2月28日（土）：東京にて、ブロック拠点病院カウンセラーを招き、全国の相談員が一同に集まり、情報・意見交換を行った。

###### ② HIV検査・相談事業

- ・ 定期的なHIV検査を、7機関にて実施。
- ・ 臨時のHIV検査を、検査週間やエイズデーの時期に12回実施。

そのうち、2回は水道橋三崎町クリニックにて実施。

- ③財団内に電話相談室を設置し、専門相談員によるフリーダイヤルによる電話相談を実施。(受付：月～金曜10:00～13:00、14:00～17:00)

相談員の研鑽のために内部研修を開催

平成20年7月5日(土)：検査、精神科医療、福祉の専門家を招き、専門的な知識を学ぶとともに、事例検討を通し電話相談の役割を検討した。

- ④電話自動応答システム(JFAPエイズサポートライン)による8カ国語でのエイズ予防情報の提供(東京、神戸、福岡に設置)。

### (3) エイズ患者等に対する社会的支援事業

エイズ患者・HIV感染者及びその家族に対するきめ細やかなケアやサポートを行うにあたり医療体制とNGOとの連携等の社会的支援に関する調査及び在日外国人患者・感染者に対する援助を実施した。

委託先：①特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター

②特定非営利活動法人CRIATIVOS(クリアチーフォス)－HIV・STD関連支援センター

### (4) ボランティア指導者育成事業

ボランティア活動を活用したエイズについて正しい知識の普及啓発を積極的に行うため、リーダーの養成を目的としてNGO指導者研修会を開催した。なお、各NGOの相互理解、情報共有並びに交流を図るため、プログラムの一部は通訳研修会(相談員養成研修事業)と合同で実施した。

平成21年3月14日(土)～15日(日) 大阪市にて開催 参加者：22人

### (5) 相談員養成研修事業

エイズ相談員等養成研修会の実施

- ①HIV検査・相談研修会(応用編)

平成20年5月15日(木)～16日(金) 於：東京都 参加者：35人

- ②エイズ予防・ケア研修会(入門編)

平成20年7月30日(水)～31日(木) 於：東京都 参加者：121人

- ③HIV検査・相談研修会(基礎編)

平成20年9月16日(火)～17日(水) 於：東京都 参加者：76人

- ④エイズ予防・ケア研修会(入門編)

平成20年10月11日(土)～12日(日) 於：福岡市 参加者：59人

- ⑤ケア合同研修会(応用編)

平成21年2月26日(木)～27日(金) 於：東京都 参加者：59人

## ⑥通訳研修会

平成21年3月14日（土）～15日（日） 於：大阪市 参加者： 21人

### (6) エイズ治療拠点病院医療従事者海外実地研修事業

エイズ治療の拠点病院における診療能力の向上及びHIV／エイズ診療のリーダー的役割をになう人材の育成を図るため、エイズ診療の経験豊富な海外医療機関へ派遣し、臨床実地研修を実施した。

派遣先：ロサンゼルス 南カリフォルニア大学ケック医学部  
(医師コース)

サンフランシスコ カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校  
(医師コース、看護師コース)

参加者：医師 7名（ロサンゼルス3名、サンフランシスコ4名）  
看護師 5名（サンフランシスコ5名）

### (7) エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開催事業

エイズ治療拠点病院の整備状況、今後の拠点病院の在り方等について意見交換を実施するために、厚生労働省で開催された「中央運営協議会」に合わせて、エイズ治療ブロック拠点病院長会議を開催した。

日時：平成21年3月5日（木）16時30分～17時30分

場所：法曹会館（千代田区霞ヶ関）

### (8) HIV診療医師情報網支援事業

HIV感染症の臨床医等による交流等の連携を図るため症例検討会、講演会、ネットワーク紙の発行を実施した。

支援先：①東北HIV診療支援ネット

②HIV感染症の医療体制構築を目指すネットワーク（新潟）

③東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会

④北陸HIV臨床談話会

⑤関西HIV臨床カンファレンス

⑥岡山HIV診療ネットワーク

⑦九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議

### (9) アジア地域エイズ専門家研修事業

第15回アジア地域エイズ専門家研修

アジア地域におけるエイズ予防対策の推進を図るため、アジア地域のエイズ・結核対策関係者を日本に招へいし実務研修を実施した。（結核予防会結核

研究所による技術支援あり)

日程：平成20年10月4日（土）～11月14日（金）

参加者：16名（中国他11ヵ国）

(10) エイズ国際会議研究者等派遣事業

平成20年8月3日（日）から8日（金）にメキシコ メキシコ市で開催された第17回国際エイズ会議に研究者、NGO、医療従事者等を派遣した。

また、ブースを出展し、日本のエイズ対策、NPO・NGO等の活動の取り組み紹介、日本のエイズの現状紹介等の情報提供を行った。

派遣人数：12名

(11) エイズ国際協力計画推進事業

①アジア地域を中心としたMSMに対するエイズ予防対策への、わが国としての国際協力のあり方を検討するため、オーストラリアの現地調査を実施した。

日程：平成21年2月23日（日）～27日（金）

訪問国・地域：オーストラリア シドニー市

調査派遣者：6名

②アジアにおける青少年の薬物使用によるHIV感染予防対策についての最新情報を共有し今後の対策への議論を行う機会に日本の情報を発信するため、「アジア行政官を対象とした「HIV/AIDS対策に関するアジア行政官会議開催事業」に専門家を派遣した。また、「CHALLENGING PRACTICES ON HIV/AIDS IN JAPAN, 2008」を作成し、出席者へ配布した。

日程：平成21年3月18日（水）～19日（木）

開催地：中国 雲南省 昆明市

参加者数：約20名

調査派遣者：2名

(12) エイズ知識啓発普及事業

①全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象にポスターコンクールを実施。授賞作品はAPI-Netで公表した。

応募期間：平成20年6月24日（火）～9月3日（水）

応募総数：623点

授賞作品：21点

「世界エイズデー」ポスターコンクール第1次審査会

日時：平成20年9月12日（金）13時30分～17時30分

場所：水道橋ビル会議室

「世界エイズデー」ポスターコンクール本審査会

日時：平成20年10月9日（木）14時00分～16時00分

場所：飯田橋レインボービル会議室

「世界エイズデー」ポスターコンクール表彰式

日時：平成20年11月28日（金）15時00分～15時30分

場所：水道橋ビル会議室

②公共広告機構（AC）の支援を受けてHIV検査促進の広報活動を実施した。

（テレビ・ラジオCM、新聞・雑誌広告、車内広告、ポスター等）

・平成20年4月～6月「TERU登場」

・平成20年7月～平成21年3月「検査に行くということ（TERU）」

③日本テレビ「ACTION 日本を動かすプロジェクト」と連携し、「go! go! SHIODOME黄金週間」において街頭キャンペーンと検査イベントを実施した。

日時：平成20年5月5日（月・祝）13:30～17:00（街頭キャンペーン）

14:00～20:00（検査イベント）

場所：日本テレビタワー

配布数（街頭キャンペーン）：フライヤー約1,500枚

参加者数（街頭キャンペーン）：約40名

受検者数（HIV無料・即日検査）：42名

④「HIV検査普及週間」の啓発普及事業

1）「HIV検査普及週間」キャンペーンイベントの実施

イ．「RED RIBBON TALK&LIVE ～HIV検査に行こう！～」

開催日：平成20年5月27日（火）18:00～20:00

会場：SHIBUYA-BOXX（東京都渋谷区神南）

参加者：約50人

内容：無料招待のライブを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信した。

ロ．トークライブ

開催日：平成20年5月31日（土）15:00～17:00

会場：アメリカ村・三角公園（大阪府大阪市）

内容：若者が集まる公園でのトーク及びお笑いライブを行い、HIVについての啓発メッセージを発信した。

## 2) 街頭キャンペーンの実施

HIV検査普及週間の告知並びに全国の保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、自治体、学生ボランティア、タレントボランティア、中国甘肅省CDC派遣団等と協力し、街頭キャンペーンを実施した。

イ. 実施日：平成20年5月27日（火）15:00～17:00

実施場所：東京 渋谷駅ハチ公前周辺

参加者数：約40名

配布物：予防啓発グッズ等 2,000セット

ロ. 実施日：平成20年5月30日（金）17:00～20:00、5月31日（土）15:00～17:00

実施場所：大阪 梅田周辺、難波周辺、三角公園周辺

参加者数：約20名

配布物：予防啓発グッズ等 2,300セット

3) 「HIV検査普及週間」（6月1日～7日）に向けて実施する各自治体のイベント計画および実績報告を収集し、API-Netに公表した。

⑤小冊子・リーフレットの作成・配布

⑥海外渡航者向けの小冊子を作成し全国の検疫所を通して空港等に配布した

⑦東京・名古屋・大阪・福岡においてMSMに対するコミュニティセンターを設置し、エイズに関する情報提供等を実施

⑧同性愛者向けイベントの活用による啓発普及

⑨全国のNGO活動の情報の集約とその発信

データベース（API-Net内）掲載NGO数：110団体

⑩携帯電話向けAIDS/STI情報サイト（<http://www.aidsmob.com>）

からの情報提供の発信

アクセス件数：11,797件

(13) 「世界エイズデー」啓発普及事業

①12月1日の世界エイズデー・キャンペーンイベントの実施

・「RED RIBBON LIVE 2008」

開催日：平成20年11月29日（土）17:30～21:00

会場：SHIBUYA-AX（東京都渋谷区神南）

参加者：約500人

内容：参加アーティストによるライブ

ラジオDJ、専門家、アーティストによるHIV啓発トークセッション  
ビデオメッセージの上映

- ・全国のFMラジオ局を通じてHIVの基礎知識についての情報提供やエイズデーイベントの呼びかけを実施
- ・インターネット等による啓発及び情報提供  
エイズ予防情報ネットにおいて、通常の予防啓発に関する情報に加えて、世界エイズデー前後の期間に各地方自治体で実施するイベントの紹介やHIV検査やエイズ相談の実施体制等について情報提供を実施した。  
また、Yahoo! JAPANと連携して、「RED RIBBON LIVE」に関する情報や著名人のエイズ啓発に関するコメント紹介を実施し、イベント後にはライブ映像のオンデマンド配信を実施した。

## ②街頭キャンペーンの実施

世界エイズデーの告知並びに全国の保健所等でのHIV無料・匿名検査実施の告知を目的とし、学生ボランティア等の協力を得て街頭キャンペーンを実施した。

実施日：平成20年11月29日（土）12:00～15:00

実施場所：東京 渋谷駅ハチ公前周辺

参加者数：46名

配布物：予防啓発グッズ等 3,200セット

## ③UNAIDSの発行した以下の3冊の冊子を翻訳し発行・配布した

- ・世界のエイズの流行に関する報告（原題：Report on the global AIDS epidemic）
- ・エイズ対策の展望／09（原題：AIDS OUTLOOK/09）
- ・UNAIDS用語のガイドライン（対訳）（原題：UNAIDS Terminology Guideline）

## (14) エイズ予防情報センター事業

エイズ患者・感染者やその家族、一般国民及び医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV検査情報、NGO活動情報等をホームページ「エイズ予防情報ネット」で情報提供を行った。

- ・「HIV検査・相談窓口」等の情報サービスの実施

全国の保健所における検査日時や場所、予約の仕方、電話相談等について情報提供（定期更新）した。

- ・アクセス件数：659,839件

## (15) 青少年エイズ対策事業

青少年を対象として、科学的根拠に基づいたエイズ予防事業を実施することを目的として、①保健所のエイズ対策担当者②小学校・中学校・高等学校の教師を対象に研修会を実施した。

①保健所プロジェクト

保健所用研修会 平成20年6月20日（金）、21日（土）  
京都ガーデンパレスにて開催  
参加件数 46保健所 50人

②保健室プロジェクト

中学校用研修会 平成20年8月19日（火）国立京都国際会館にて開催  
高等学校用研修会 平成20年8月22日（金）国立京都国際会館にて開催  
参加校数：91校（小学校15校※、中学校51校、高等学校25校）  
参加者数：111人（小学校15人※、中学校57人、高等学校39人）  
※小学校は中学校用研修会に参加

(16) エイズ治療啓発普及事業

エイズ治療に関する最新の情報を整理・提供することにより、エイズに対する差別・偏見の軽減に寄与するために次の事業を実施した。

①エイズ医療連携推進協議会による手引き書の作成

感染者・患者数の増加等にもなつて、一部のエイズ治療拠点病院への治療等の集中が指摘されている。患者の通院の負担等を軽減し、生活の質の向上を図るためにも、拠点病院と一般診療所（クリニック）との連携が有効であると考えられる。本事業では、医師会、薬剤師会、有識者等からなる連絡協議会を設置し、その連携のあり方について検討するとともに、病院とクリニックの連携に係る手引き書『HIV診療を広めるために一スムーズな双方向的連携を目指して一』を部作成した。本手引き書は、5,000部作成し、自治体、エイズ治療拠点病院、医師会等に提供した。

第4回エイズ医療連携推進協議会

日時：平成20年11月12日（水）14時00分～16時00分  
場所：水道橋ビル会議室

②エイズレポートの発行

HIV/エイズ対策に関係する人々の情報交換ツールと位置づけ本誌を作成、自治体、エイズ治療拠点病院、研究者、NGO等に配布した。

80号（5月）、81号（7月）、82号（10月）、83号（1月）

## 5. エイズ対策研究推進事業（厚生労働科学研究費補助金）

### (1) エイズ対策研究推進事業運営委員会

①日時：平成21年2月23日（月）

会場：水道橋ビル3階会議室

会議内容：平成20年度事業（中間評価）について

②日時：平成21年3月26日（木）

会場：水道橋ビル3階会議室

会議内容：平成21年度事業応募申請の採択等について

### (2) 外国人研究者招へい事業

・招へい人数 2人

・招へい内訳（国別） 米国 1名、アイルランド 1名

### (3) 外国への日本人研究者派遣事業

・派遣人数 2人

・派遣内訳（国別） 米国 2名

### (4) 外国の研究機関等への委託事業

・委託件数（2カ国） 3件

・委託内訳（国別） タイ 2件、米国 1件

### (5) 若手研究者育成活用事業（リサーチ・レジデント）

・人数 75人

国立感染症研究所等研究機関（21機関） 37人

ブロック拠点病院等（10機関） 38人

### (6) 研究成果等普及啓発事業

研究成果発表会（国民向け）

開催回数 20件（43回）

<テーマ>

わが国におけるHIV感染症～対応策とその進歩

3回

HIV診療におけるチーム医療シンポジウム

1回

治療困難例へのケアストラテジー

1回

HAART時代のHIVに伴う日和見感染症診断と治療の最前線

3回

エイズに伴う日和見原虫感染症の診断に関する講習会

2回

エイズ治療研究の現状とこれからの課題	1回
第11回白馬シンポジウムin長崎	1回
日本の性娯楽施設・産業にかかわる人々の支援・予防対策の開発	1回
男性調査・女性調査から見える金銭の授受を伴う性行動とHIV感染 への脆弱性について	1回
行政－NGO連携による同性間のHIV対策	5回
HIV感染リスクの理解と対処スキルの実践	6回
在日外国人HIV陽性者療養支援について	4回
地域と専門病院のより良い連携にむけて	1回
HIV感染者に対するカウンセリング体制の現状と今後の課題	3回
地域におけるHIV陽性者の支援を考える	2回
全国インターネット調査から見た性的指向と健康問題	2回
男性同性間のHIV感染対策とその介入効果	3回
東京地域における男性同性間のHIV感染対策とその介入効果	1回
公衆衛生と人権に関するシンポジウム	1回
沖縄県における男性同性愛者のHIV感染の現状・課題及びその対応	1回

## 6. エイズ予防のための戦略研究事業（厚生労働科学研究費補助金）

### 研究要旨

エイズ予防のための戦略研究は、HIV検査を2倍に増加させ、エイズ発症患者を25%減少させることを目標としている。この主目標を受けて、課題1「首都圏及び阪神圏の男性同性愛者を対象とした介入試験」では、首都圏及び阪神圏に居住するMSM（男性と性的接触を有する男性）を対象に介入試験を行い、また、課題2「都市在住者を対象としたHIV新規感染者及びAIDS発症者を減少させるための効果的な広報戦略の開発」では都市在住の一般市民を対象とし、どのようなHIV検査促進啓発普及プログラムが、HIV検査件数の増加、AIDS発症者の抑制を図るために有効であるかを検討した。

**研究課題1** 研究リーダー：名古屋市立大学看護学部 教授 市川誠一

**課題1**では研究計画に基づき、啓発、検査、相談、評価調査のための研究体制の調整と構築を進めつつ、首都圏及び阪神圏において、1) HIV抗体検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及、2) HIV抗体検査の整備と拡大、3) 相談体制の整備－HIV検査で陽性が判明した患者への受診支援の整備等－を実施した。

**研究課題2** 研究リーダー：京都大学大学院医学研究科 教授 木原正博

**課題2**では周到な研究計画に基づき、首都圏での介入に先立つパイロットスタディとして阪神圏で予防介入等が行われた。

なお、研究課題2について、大阪と同じ介入を東京で展開するのは財政的に難しく、大阪で引き続き実施するのは検査体制の問題があり難しいことから、研究リーダーより研究の中止の申し出があり、平成20年度で課題2は研究が中止となった。

### 委員会の開催

第6回運営委員会（平成20年7月17日（木）：エイズ予防財団会議室）

第7回運営委員会（平成21年2月9日（月）：家の光会館）

第8回運営委員会（平成21年3月9日（月）：結核予防会会議室）

第6回流動研究員選考委員会（平成21年3月9日（月）：エイズ予防財団会議室）